

おお大勝利

平成 22 年度山東サッカー部報第 4 号 (5 月 18 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Yリーグ大勝！今季初勝利をGET

5 月 15 日(土) Y リーグ第 3 節の上山明新館戦が山形市陸上競技場で行われました。今季の初戦は 4 月 24 日の Y リーグ第 2 節鶴工戦(第 1 節は降雪のため延期) 2 戦目は 5 月 9 日地区総体の山商戦でしたが、いずれも敗れているため、そろそろ今季初勝利を得て、良い流れで県総体を迎えたいもの。相手は今季から Y1 に昇格した上山明新館。山東と同じく技術より頑張りで勝負するタイプのチームで、いつも好感をもって眺めているチーム。場所は山形市陸上競技場。「山形東高校サッカーOB会」の HP にありましたが、前回このピッチを使用したのは、3 年前にメキシコの FC アトラスが日本に遠征に来た時に対戦した以来。その試合は、大敗するわ、骨折者(現筑波大学サッカー部所属の小池君)が出るわで、弱小チームの悲しさを痛感させられたというあまり良い思い出の試合ではないのですが、そんなことを思い出すこともなく、目の前の試合に集中して臨みました。

序盤、押し気味ではあるものの、拙攻という表現がぴったりの、ミスで自滅気味の攻撃しかできず、ネットを揺らすことができない山東。サイドからえぐってもセンターリングが合わなかったり、ラストパスが雑だったり、見ている者のフラストレーションだけが溜まっていく展開(もちろんやっている方も溜まるでしょうが)。ボランチには昨年度の県新人山形中央戦で右足を骨折しここ最近やっと回復・復調してきた田嶋が先発し、リズムを作ろうと少ないタッチでボールを回すも、チームとして丁寧な攻めがなかなかできない。明新館は頑張るチームだけに、こちらの拙攻で得点が入らず焦り出すとどんどん持ち味を発揮してくることが予想される。イライラがつのるベンチ(というか顧問今野)。押し込んでいる時は敵もゴール前に人数をかけているだけに、丁寧な攻めをしないと相手のディフェンスの網にかかるばかりで、有効打を打てない。

そんな膠着状態の中、前半 27 分ほどで誰かが放ったミドルシュートが、FW 松永への絶妙すぎるスルーパスになってしまう！ラッキーパスを受けた松永が難なく決めて、先制。それ以降は、やっと余計な硬さが取れたか、攻撃をシュートそしてゴールにしっかりつなげることができ、約 10 分間で 5 得点。前半を 5-0 で折り返す。

「今日は全員出すぞ」とは、前半終了のホイッスルを聞いた瞬間に顧問が控えメンバーに放った一言。いや～、前半から大量得点できたことなんて最近なかっただけに、ベンチに引き返してきた選手、アップのためピッチに躍り出た選手の表情が明るい。ただ

顧問遠藤先生は、引き返した選手たちに、「(45分ハーフのYリーグだから終盤の得点で5 - 0の展開になっているが)これが35分ハーフの県総体なら1 - 0にしかなくなってないから」と冷静に諭すことを忘れない。ん~、頼りになる!

後半は主に前線の選手から順々に交代させていく。これまで腰痛に悩まされなかなかサッカーに専念できなかった松本や、久しぶりの公式戦出場となる琢己、大志(たかし)、裕也の躍動に目を細めた後半。有人、大築は1年生大会ぶりの公式戦出場を果たし、松永 Jr(息子ではありません)も唯一の1年生エントリー者としてデビューを果たす。結局1失点してしまったものの、終わってみれば9 - 1の大勝となる。一点決めてからの「つけ込み方」には合格点を与えられるものの、遠藤先生の仰る通り、県総体を考えた時には反省点も浮かび上がった試合となりました。ただ、今季それまで調子が上がらなかった選手に元気が戻ったように感じられ、収穫も多かったです。

次戦の城北戦も、この勢いを殺さないよう必勝を期して臨みますので、引き続き応援よろしくお願いいいたします。

5月23日(日) Yリーグ第4節 VS山形城北 10:00キックオフ @上山明新館

ちなみに顧問今野は、1学年担任として岩手へ研修旅行に出かけるため、上記試合は不在となります。今野不在の時の城北戦は・・・などと昨年の結果が頭をよぎりますが、雑念を振り払いがんばりますので、応援よろしくお願いいいたします。